



↑今回担当してくれた大野さん

地域連携センターが発行しているニューズレター、今回は『特別編』として、11月にむかわ町穂別地区で行われた「恐竜フェスタ」の様子を学生にレポートしてもらいました。

担当するのは地域創生専攻4年の大野真央さん。

大野さんは、本学・鶴川高校・むかわ町が連携して行っている取組の一つである、鶴川高校の課題探求型学習「むかわ学」にファシリテーターとして参加、クラブ班の一員として高校生と共に活動しています。

## ●むかわ町恐竜フェスタ2022に行ってきました

2022年11月5日、むかわ町恐竜フェスタ2022に行ってきました。場所はむかわ町穂別町民センターで行われました。会場は一階と二階に分かれており、一階には恐竜ショップぽればーれさんなどが出店しており、カムイサウルスのオリジナルグッズをはじめ、イヤリングやバッジ、Tシャツ、トートバックなどたくさんの恐竜グッズを販売していました。私も気に入ったバッジやキーホルダーを購入しました。また、鶴川高校から50個限定で恐竜コロネというパンも販売しており、食べてみたらチョコの大暴力で、中も外も甘くておいしかったです。一つで満足でした。

化石クリーニング体験という自分で化石を発掘してみるコーナーでは、子供たちが精一杯作業をしているのが伺えました。自分も小学生低学年の頃に似たようなことをさせてもらったことがあったので、自分で採掘するのは楽しいと思いましたね。あの時もむかわ町だったような気がします。



鶴川高校の先生と生徒さんと恐竜コロネ



恐竜ショップぽればーれの店員さん



むかわ竜や他の恐竜の商品

二階では、鶴川高校のむかわ学発表やデジタル化石標本体験、Withshot撮影体験が行われていました。

鶴川高校のむかわ学発表では、恐竜研究同好会の発表を聞きました。彼らは化石の発掘やクリーニングの活動をしているようで、実際の動画も流れていました。また、カムイサウルスのクイズを行っており、白亜紀の牛ともいわれる植物食恐竜であることを発表していました。発表が終わった後で話を聞いてみたところ、彼らは同好会に入った当時、自分たちで新しいテーマで研究を始め、よくここまで頑張ったなと感じました。「今後は人数を増やしたいし、活動も大きくしたい。早くコロナが収まってほしい」と答えてくれました。また、この発表を担当する鶴川高校の水尾先生は、「初めての発表だったので少し戸惑いが見られたが、今後の活躍に期待している」と言っていました。

Withshot撮影体験は、下の写真の通り、カメラを使用して自分の隣に恐竜を映す体験です。これはかなり迫力がありました。画面の中でも恐竜の顔が動き、最後にQRコードで写真を読み取って保存することができるため、小さいお子さんがいる家族にはとても喜ばれると思います。

デジタル化石標本体験では、化石をデータ化し、モニターで360度どこからでも見られるようにされていました。化石がどのようになっているか、見れるようになっていて素晴らしいかったです。

来年もむかわ町恐竜フェスタが行われるなら、また行きたいと思っています。



Withshot撮影体験の様子



恐竜研究同好会の生徒とカムイサウルスの模型



デジタル化石標本体験の様子